

○ 長野市中心市街地活性化基本計画 新旧対照表（傍線部分は変更部分）

変 更 後					現 行				
4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項 [1]、[2] (1) (2) ① (略) (2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業					4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項 [1]、[2] (1) (2) ① (略) (2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業				
NO 事業名 ●内容 ◎実施時期	実施 主体	目標達成のための位置づけ 及び必要性	措置の 内容及び 実施時期	その他の 事項	NO 事業名 ●内容 ◎実施時期	実施 主体	目標達成のための位置づけ 及び必要性	措置の 内容及び 実施時期	その他の 事項
5. 長野駅前A-3地区市街地再開発事業 ●地区面積 約0.2ha ・敷地面積 約1,200㎡ ・延床面積 約 7,200 ㎡ ・規模構造 S 造、 地上 11 階建 ・用途等 商業、業務施設、 ◎平成19年度～ 22 年度	長野駅前 A-3地区 市街地再 開発組合	・長野駅前といった立地条件の良さをいかしながら、長野のランドマークとなり、多くの人々に訪れてもらえるような機能を導入した市街地再開発事業を行う。 ・「賑やかな都会的雰囲気のみち」の長野駅前商業集積ゾーンに相応しい、各種機能が集積し、快適にまちを楽しめ、訪れたいまちの実現を目指す。 ・土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新に資するものである。 → 目標① (③)	市街地再開発事業 平成19年度～ 22 年度		5. 長野駅前A-3地区市街地再開発事業 ●地区面積 約0.2ha ・敷地面積 約1,200㎡ ・延床面積 約 9,000 ㎡ ・規模構造 SRC 造、 地上 14 階建 ・用途等 商業、業務施設、 駐車場 ◎平成19年度～ 21 年度	長野駅前 A-3地区 市街地再 開発組合 (仮)	・長野駅前といった立地条件の良さをいかしながら、長野のランドマークとなり、多くの人々に訪れてもらえるような機能を導入した市街地再開発事業を行う。 ・「賑やかな都会的雰囲気のみち」の長野駅前商業集積ゾーンに相応しい、各種機能が集積し、快適にまちを楽しめ、訪れたいまちの実現を目指す。 ・土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新に資するものである。 → 目標① (③)	市街地再開発事業 平成19年度～ 21 年度	
5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項 [1]、[2] (1) (略) (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業					5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項 [1]、[2] (1) (略) (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業				

NO 事業名 ●内容 ◎実施時期	実施 主体	目標達成のための位置づけ 及び必要性	措置の 内容及び 実施時期	その他の 事項	NO 事業名 ●内容 ◎実施時期	実施 主体	目標達成のための位置づけ 及び必要性	措置の 内容及び 実施時期	その他の 事項
<p>25. 暮らし・にぎわい再生事業計画策定事業</p> <p>●都市機能のまちなか立地、空きビル再生、賑わい空間施設の整備等を盛り込んだ再生事業計画を策定する。</p> <p>・長野駅周辺では、青空駐車場の有効活用を図るため、新たな公共公益施設の立地を検討する。</p> <p>・権堂地区では、空きビルとなっている旧映画館の再生を検討する。</p> <p>・まちづくり活動支援として、各地域の住民意向調査を行う。</p> <p>◎平成19年度～平成21年度</p>	長野市	<p>・長野駅周辺や権堂地区の一部には、空きビルや低未利用地が存在しており、中心市街地の活性化に向け、それらの有効活用が期待されている。</p> <p>・まちなか居住の促進を図るうえでは、これらを活用して、都市機能の導入や賑わい空間施設の整備、住宅へのコンバージョンなどが必要であることから、まちなか居住による賑わい再生に向け、総合的な都市機能の増進を図るものとする。</p> <p>・今後は、地元住民が自らまちづくりを考え、行政はそれを支援するような住民主導のまちづくりの実践も期待されている。</p> <p>・こうしたことから、公民協働により、暮らし・にぎわい再生事業のコア事業の実現に向けた計画策定事業を行う。</p> <p>→ 目標②</p>	暮らし・にぎわい再生事業 平成19年度～21年度		<p>25. 暮らし・にぎわい再生事業計画策定事業</p> <p>●都市機能のまちなか立地、空きビル再生、賑わい空間施設の整備等を盛り込んだ再生事業計画を策定する。</p> <p>・長野駅周辺では、青空駐車場の有効活用を図るため、新たな公共公益施設の立地を検討する。</p> <p>・権堂地区では、空きビルとなっている旧映画館の再生を検討する。</p> <p>・まちづくり活動支援として、各地域の住民意向調査を行う。</p> <p>◎平成19年度～平成20年度</p>	長野市	<p>・長野駅周辺や権堂地区の一部には、空きビルや低未利用地が存在しており、中心市街地の活性化に向け、それらの有効活用が期待されている。</p> <p>・まちなか居住の促進を図るうえでは、これらを活用して、都市機能の導入や賑わい空間施設の整備、住宅へのコンバージョンなどが必要であることから、まちなか居住による賑わい再生に向け、総合的な都市機能の増進を図るものとする。</p> <p>・今後は、地元住民が自らまちづくりを考え、行政はそれを支援するような住民主導のまちづくりの実践も期待されている。</p> <p>・こうしたことから、公民協働により、暮らし・にぎわい再生事業のコア事業の実現に向けた計画策定事業を行う。</p> <p>→ 目標②</p>	暮らし・にぎわい再生事業 平成19年度～20年度	